

鉱物の世界の「華麗なる!?一族」

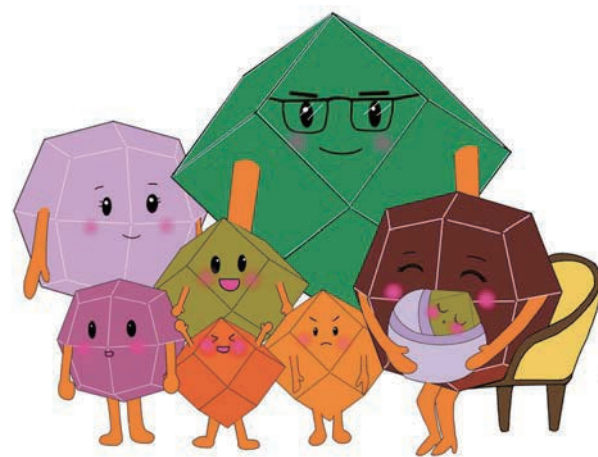
「ほっとやまはく」 タイム⑭



山崎豊子さんの「華麗

なる一族」という著作をご存知ですか？（1973年、新潮社発行）。鉱物の世界にも文字通り「華麗なる」一族グループがあります。鉱物は現在およそ5000種が知られていて、その中にケイ素（Si）原子と酸素（O）原子を結晶構造の骨格に持った、ケイ酸塩鉱物と呼ばれる鉱物があります。

華麗なるガーネット族のイラスト



輝石グループ

○輝石と名前が付いているグループです。28種あり、この中には身近な岩石に含まれるものもあります。緑色の透輝石（ダイオプサイド）に、濃い緑色の灰鉄輝石（ヘデンバーガイト）。褐色の頑火輝石（エンスタタイト）は岩石に含まれていて、よく見かける輝石です。



上段左からリチア輝石、頑火輝石、透輝石、下段左からヒスイ輝石、灰鉄輝石

長石グループ

○長石と名前が付いているグループで、輝石グループよりもっと身近な鉱物です。まずは、正長石。白色やクリーム色などありますが、企画展ではピンク色のものを展示しています。正長石は花こう岩に含まれてい



左から花こう岩（ピンク色の鉱物が正長石）、正長石



ラブラドライト、アマゾナイト（左から）

る鉱物で、写真のような岩石を見たことがある人も多いと思います。次は微斜長石。白色、淡黄色、ピンク色などさまざまな

色があり、青緑色のものはアマゾナイトと呼ばれ、宝石にもなります。そして曹灰長石。ラブラドライトと言えばピンとくる人もいるはず。灰色で一見地味なのですが、光の当たり方によって青や黄色、オレンジ色にきらめき、その輝きから目が離せません。

ざくろ石（ガーネット）グループ

今回取り上げた中で一番多彩なグループです。赤や緑、黄色やだいたい色、磨けば宝石になるものも多く、とても華やかです。○ざくろ石と名前が付いており、○にはそのざくろ石の主な成分が書かれています。例えば、鉄磐（はん）ざくろ石。ちよつと漢字が難しい……。『鉄』はわかりますが、『磐』はアルミニウムのことです。つまり、鉄の成分とアルミニウムの成分が含まれたざくろ



上段左から灰クロムざくろ石、灰磐ざくろ石、鉄磐ざくろ石、下段左から灰磐ざくろ石（ピンク色）、灰鉄ざくろ石

とで、英名はアンドラタイト。黄色や緑、黒などがあり、宝石になるものは色ごとに名前が付けれられています。次は灰磐ざくろ石、英名グロッシュラー。これもさまざまな色がありますが、企画展ではピンク色と褐色のものを展示しています。最後に灰クロムざくろ石（ウバロバイト）。緑色が鮮やかなざくろ石です。

さて、どのざくろ石がお好みでしょうか？どれもきれいで困ってしまいます。企画展「カラフル鉱物大集合!!」は、6月19日

（日）までの開催です。ぜひ、会場で色彩豊かな「華麗なる」鉱物の展示をお楽しみください。赤崎英里（学芸課主任・地学担当）▽次回は6月8日です。

山口県立山口博物館
TEL 083-922-0294
月曜休館（祝日の場合は翌日）。
最新情報はホームページで。

